



↓くじやヨーヨーすくいなどの遊びを楽しむ園児



夏祭りの縁日風イベント楽しむ 津奈木幼稚園夏祭り

8月17日(水)、津奈木幼稚園で縁日風のイベントが開かれ、園児3人が夏祭りの雰囲気味わいました。今年度で閉園となる同園最後の年に素敵な思い出を作ってもらいたいと先生が企画しました。園児たちはスイカ割りやヨーヨーすくい、輪投げなど全9つを楽しみ、「最高の思い出になった」と満足そうに話していました。

水面を照らす優しい光 赤崎千灯籠の夕べ

8月13日(土)～15日(月)、千灯籠の夕べが開かれました。お盆の「迎え火」と「送り火」の思いが込められていて、今回で11回目を迎えます。きれいな夕焼け空が広がる赤崎漁港の波止場には灯籠が並べられ、主催の赤崎建設委員会が灯籠のろうそくに点火。優しい炎の揺らぎが水面を照らし、幻想的な光景が広がりました。



↑赤崎漁港を幻想的に照らし出した灯籠

八代海の赤潮被害拡大

八代海では7月から赤潮が発生し、津奈木町は8月15日(月)現在でトラフグやマダイなど約20万匹の被害が確認されました。

夏場の海水温の上昇で「カレニアミキモトイ」というプランクトンが大量に発生して赤潮となり、大量に発生したプランクトンが魚のエラに付くと呼吸ができなくなります。県では赤潮警報を出したほか、危機管理対策本部を設置して対応にあたっています。

被害を受けた養殖業者を対象に相談窓口を設置

▶**相談内容** 事業継続のために受けられる融資の窓口の紹介や、新たな稚魚の仕入れなど、ワンストップで被害に関する相談

▶**受付時間** 平日 8:30～17:15

▶**問い合わせ** 県農林水産部団体支援課

☎ 096-333-2786



↑赤潮の影響で褐色に濁っている海面



↑いけすいっぱい浮かぶ死んだ養殖トラフグ

↓公開初日は上野さんのアーティストトークが開かれました



熊本ゆかりの若手作家を紹介 上野洋嗣展 イマジナリ⇄リアル～理想の風景を求めて～

7月30日(土)～8月28日(日)、画家・上野洋嗣さんの作品展がつなぎ美術館で開かれました。同館が熊本にゆかりのある若手作家の作品を紹介するプロジェクト「U-39KUMAMOTO」。ことしは、熊本を拠点に創作活動続ける画家・上野洋嗣さんの新作の油絵7点などを展示しました。自然の持つエネルギーや偉大さを独特な世界観で表現しています。

↓たろうさん(左)と一緒にキャラクターを考えたい参加者



昔話のキャラを考えよう たろうつなぎプロジェクト

8月9日(火)、つなぎ美術館でニッポン画家・たろうさんのワークショップが開かれ、9人が参加しました。古典と現代の接点を新しさとユーモアを加えて表現することで知られるたろうさん。参加者は、たろうさんが考えたオリジナルの昔話に登場するキャラクターを想像で描きました。キャラクターは11月から始まるアートプロジェクトの成果展に登場予定です。



さかなクンが不知火海の魅力を発信 「みなまた・あしきたギョギョギョ大使」委嘱式

7月22日(金)、魚類学者でタレントのさかなクンが県と水俣、芦北、津奈木が任命する「みなまた・あしきたギョギョギョ大使」に就任しました。動画投稿サイトなどで発信する予定で、「いつも感動させられている熊本の大自然や温かい人とのギョ(ご)縁に恩返ししたい」と話していました。詳しくは右 QR コードを読み取ってください。



↑「みなまた・あしきたギョギョギョ大使」に任命されたさかなクン(中央)

夜空彩る3年ぶりの花火 つなぎ納涼花火

8月6日(土)、総合グラウンドで3年ぶりに大輪の花火が夏の夜空を彩りました。新型コロナウイルスの影響でつなぎ夏祭りが中止となり、せめてもの夏の思い出にと津奈木町夏祭り実行委員会が主催。色とりどりの花火が次々と打ち上がり、会場を訪れた夏休み中の子どもたちや大勢の家族連れなどが美しさに見入っていました。



↑約500発の花火が津奈木の夜空を彩りました



↑会場を盛り上げたつなぎ舞鶴太鼓



↑司会を務めたタレントの安井まさじさん